

数学

大阪大学 [理系] (前期)

<全体分析>

試験時間	150 分	解答問題数	5 題
------	-------	-------	-----

解答形式
記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

例年どおり数ⅢCの比重が高かった。

その他トピックス

2は文系**2**と共通問題 (昨年度は平面ベクトルの問題が共通問題であった)。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	微分法	数学Ⅲ 数学Ⅱ	3次関数の接線、三角形の面積 (有理関数) の最大値	標準
2	空間ベクトル	数学C	4点が同一平面上にある条件、ベクトルの大きさの最小値	やや易
3	複素数平面	数学C 数学Ⅱ	複素数平面上の図形、円と直線の共有点の個数	標準
4	積分法 微分法	数学Ⅲ	微分法の不等式への応用、定積分の極限值	標準
5	確率	数学A	さいころの目で定める有理数が整数となる確率	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

いずれの問題も完答するには数学的な考察をしっかりと行うことが必要であり、基本事項の単純な組み合わせで解決できるような問題は少ない。日頃の学習において、単に問題を解くことに満足せず、高度な知識を身につけることや、柔軟な着想や運用、表現の意味や問題の背景にある数学的内容を確認することなどに留意して学習してほしい。また、計算量も多いので計算力をつける練習も行してほしい。